特許取得およびIPランドスケープを推進

日油グループが目指す「ライフ・ヘルスケア」「環境・エネルギー」「電子・情報」の3分野において新しい価値の創造に向けて、IPランドスケープ（IPL）を活用して新製品・新技術開発を推進し積極的に権利化を進めています。また、知的財産権を尊重するとともに、人材育成にも力を入れています。

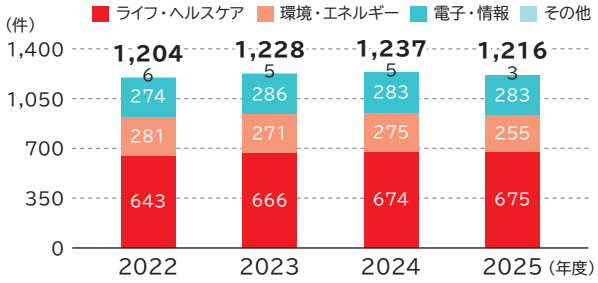


目指す3分野の出願状況

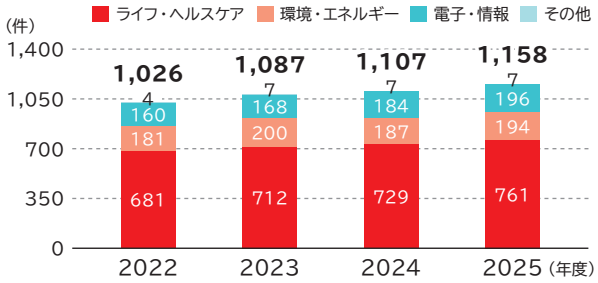
「ライフ・ヘルスケア」「環境・エネルギー」「電子・情報」分野において、経営戦略に基づく知的財産戦略を策定し、必要な権利の取得を行っています。また、知的財産への投資を中長期的な価値創造へ向けた取り組みとして認識しており、知的財産を事業領域の拡大、市場創出へつなげていきます。

グローバル展開の拡大に伴い、現在は「ライフ・ヘルスケア」分野で海外特許の保有件数が伸長しています。

国内特許保有数



海外特許保有数



共同研究と権利化の推進

「バイオから宇宙まで、化学の力で新しい価値を創造する企業グループとして、人と社会に貢献」することを経営理念とし、新規事業の創出のため、社内外で将来性のある有望なテーマの発掘とオープンイノベーションを積極的に進めています。

先端技術研究所（現ヘルスサイエンス研究所、マテリアルサイエンス研究所）※をはじめとする日油グループの研究部門が中心となり、産学官との共同研究や委託研究により新製品・新技術開発を推進し、有効な権利の取得を行っています。

また、会社への利益貢献の高い特許については発明報奨を行っています。発明者へのインセンティブを高めることにより、利益貢献の高い発明を生むモチベーションの向上を図っています。

※ 先端技術研究所は廃止しました。

IPLの活用

日油は、用途探索や協創先の発掘、研究テーマ探索などにおいて、研究本部と各事業部門研究所および知財部門が一体となってIPLを積極的に活用しています。調査目的に応じて標準化した解析フローを整備し、技術トレンドや競合動向・応用領域のポテンシャルを可視化することで、研究開発の方向性決定や新規用途・協創機会の探索に資する情報提供を行っています。また、研究部門と知財部門の役職者が参加するIPL連絡会を開催し、調査方針の決定や進捗管理を行うことで、知財戦略と研究戦略の連携を強化しています。IPLの活用を推進するこれらの活動により、各事業部での研究効率の向上、事業化までの期間短縮を図ることで、新しい用途や新製品の開発、新市場の開拓を加速させ、企業価値向上につなげていきます。

さらに、社内研修の充実を通じてIPL活用の促進を図っています。検索や特許解析の基礎研修に加え、データ可視化やテキストマイニングなどの解析ツールの研修を実施し、研究者のスキル向上を支援しています。